

長野県の金融経済動向

(2020年6月4日)

【概 況】

長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一段と厳しさを増している。

最終需要の動向をみると、設備投資は概ね横ばいとなっている。また、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっており、住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は増加している。

この間、生産は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。雇用・所得は、新型コロナウイルス感染症の影響などから労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが広がっている。

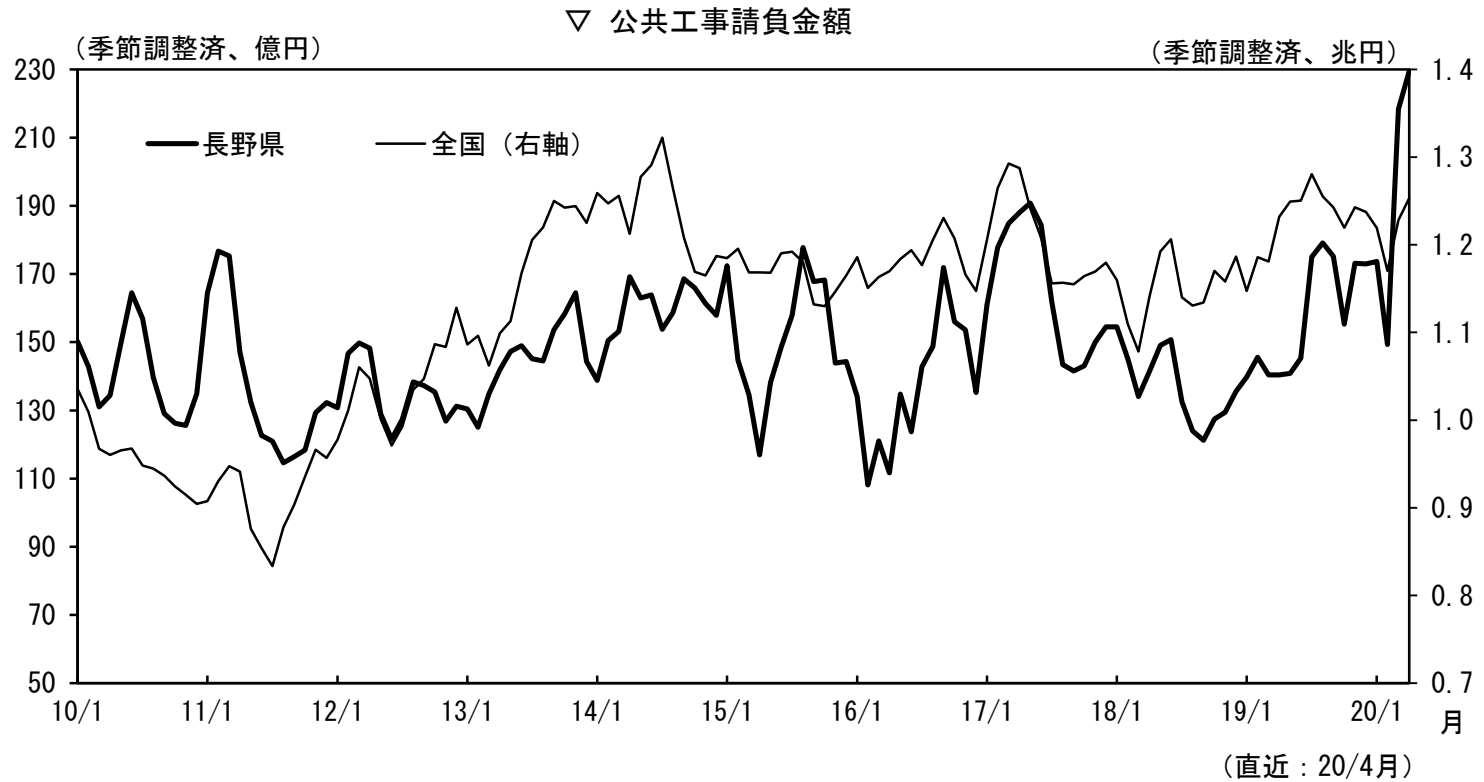
【前回からの変化】

20/5月	20/6月
<p>長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、厳しさを増している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は概ね横ばいとなっている。 ・個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。 ・住宅投資は横ばい圏内で推移している。 ・公共投資は持ち直している。 <p>・生産は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。</p> <p>・雇用・所得は、新型コロナウイルス感染症の影響などから労働需給が緩和してきており、弱めの動きとなっている。</p>	<p><u>長野県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一段と厳しさを増している。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は概ね横ばいとなっている。 ・個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。 ・<u>住宅投資は弱めの動きとなっている。</u> ・<u>公共投資は増加している。</u> <p>・生産は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。</p> <p>・<u>雇用・所得は、新型コロナウイルス感染症の影響などから労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが広がっている。</u></p>

1. 実体経済

公共投資

公共投資は増加している。



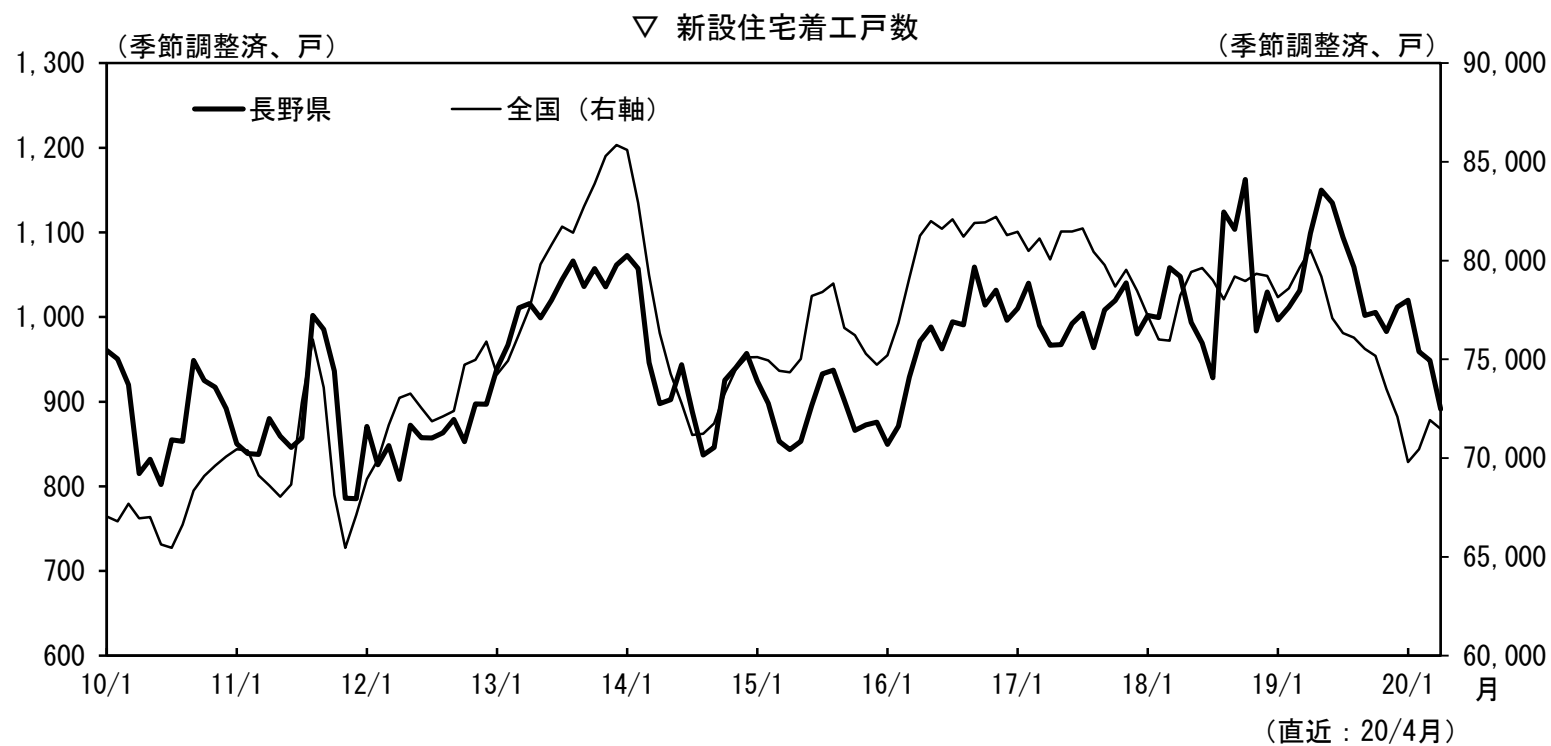
(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は弱めの動きとなっている。



(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。

(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

1. 実体経済

設備投資

設備投資は概ね横ばいとなっている。

設備投資は、20年度は前年並みの計画となっている。
 輸出は、20年度は前年度を下回る計画となっている。
 企業収益は、20年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	19年度 見込	20年度 計画
製造業	0.8	4.3
非製造業	8.0	- 19.5
全産業	2.0	0.0

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	19年度 見込	20年度 計画
製造業	- 6.6	- 0.2

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	19年度 見込	20年度 計画
製造業	- 32.3	- 4.3
非製造業	- 14.1	1.9
全産業	- 28.3	- 2.6

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	19年度 見込	20年度 計画
製造業	4.1	2.4
非製造業	1.9	- 2.0
全産業	2.7	- 0.4

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	19年度 見込	20年度 計画
製造業 <大企業>	- 4.2	0.9

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	19年度 見込	20年度 計画
製造業	- 12.8	- 2.8
非製造業	- 3.9	- 2.4
全産業	- 7.6	- 2.5

(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(20/3月)」

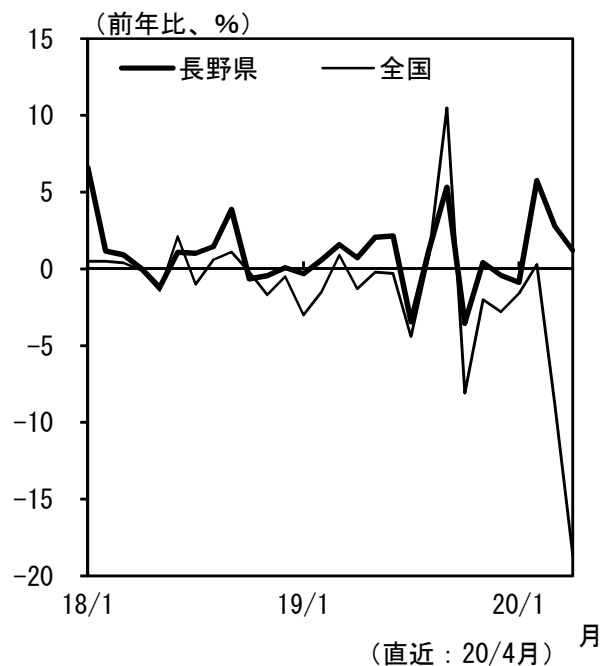
1. 実体経済

個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。

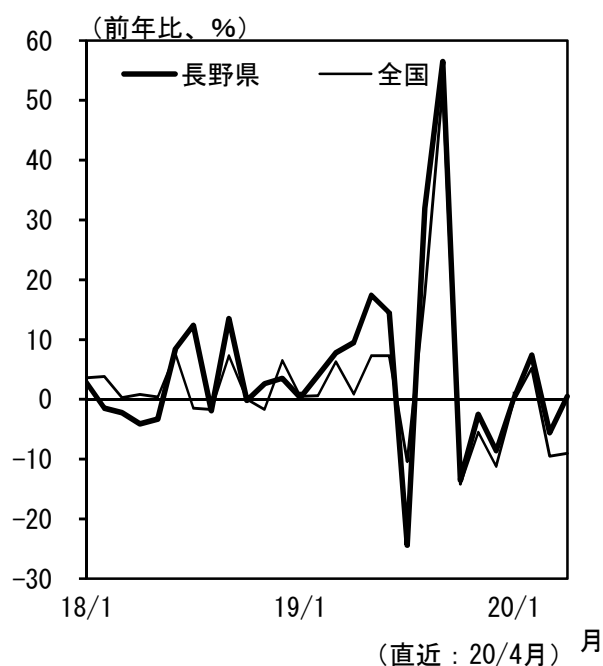
県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は、弱めの動きが続いている。家電販売額は、横ばい圏内で推移している。新車登録台数は、大幅に減少している。

▽ 大型小売店売上高（百貨店・スーパー）



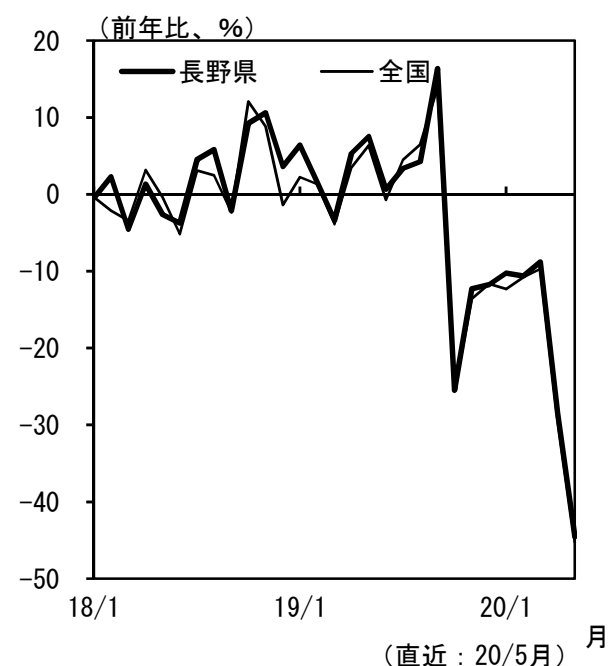
(出所) 長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」

▽ 家電販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

▽ 新車登録台数



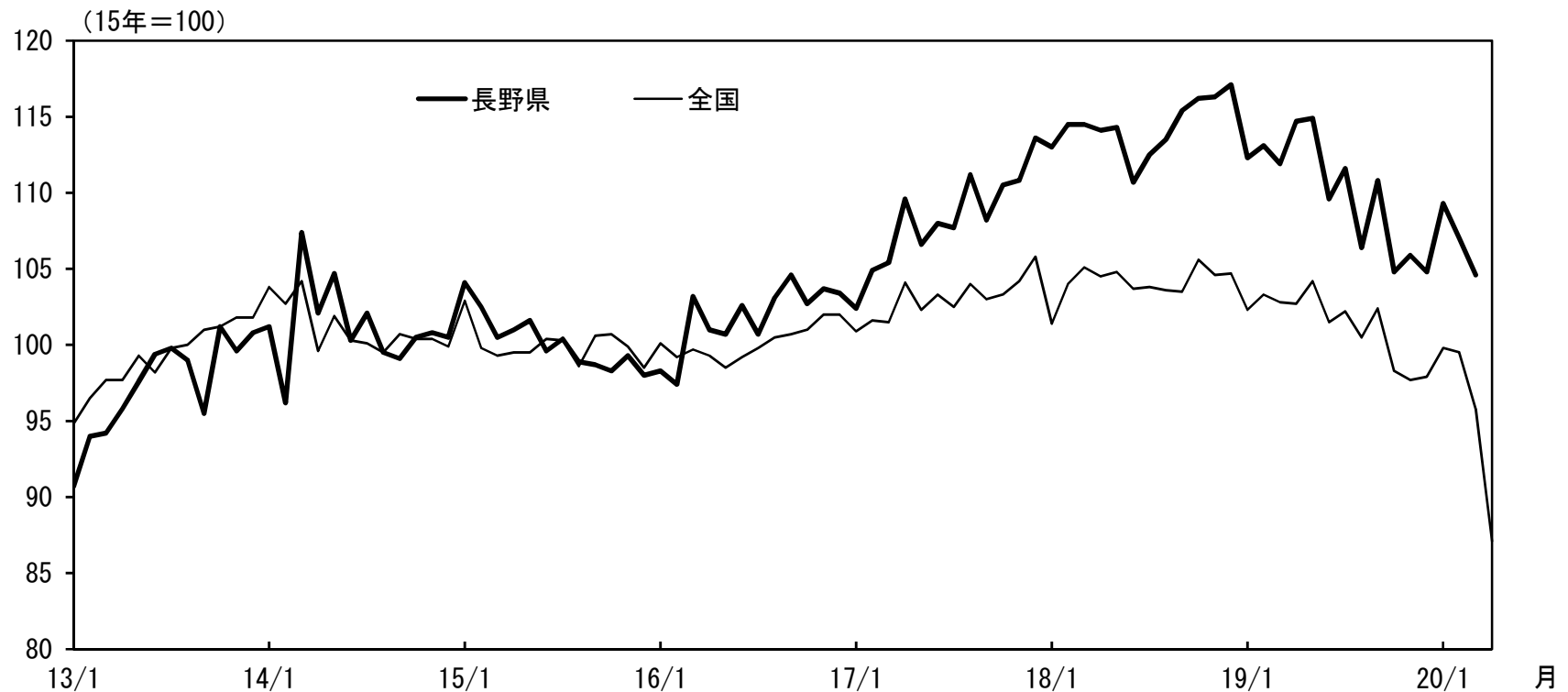
(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

1. 実体経済

生産

生産は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、弱めの動きが広がっている。

▽ 鉱工業生産指数（季節調整済）



（出所）経済産業省、長野県「鉱工業指数」

（直近：長野県=20/3月、全国=20/4月）

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等では、自動車向け等の需要が鈍化するもとで、生産は弱めの動きが続いている。

自動車関連では、生産は弱めの動きが広がっている。

機械・同関連部品等では、計器や工作機械では、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。成形機やバルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。

飲料では、持ち直しに一服感がみられる。

【前回からの変化】

20/5月	20/6月
<p>半導体関連・電子部品等では、産業用機械向け等の需要鈍化が継続するもとで、生産は弱めの動きが続いている。</p> <p>自動車関連では、生産は弱めの動きとなっている。</p> <p>機械・同関連部品等では、計器や工作機械では、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。成形機やバルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。</p> <p>飲料では、持ち直しに一服感がみられる。</p>	<p><u>半導体関連・電子部品等では、自動車向け等の需要が鈍化するもとで、生産は弱めの動きが続いている。</u></p> <p><u>自動車関連では、生産は弱めの動きが広がっている。</u></p> <p>機械・同関連部品等では、計器や工作機械では、海外需要の動向等を受け、生産は弱めの動きとなっている。成形機やバルブでは、海外需要の動向等を受け、生産は弱含んでいる。</p> <p>飲料では、持ち直しに一服感がみられる。</p>

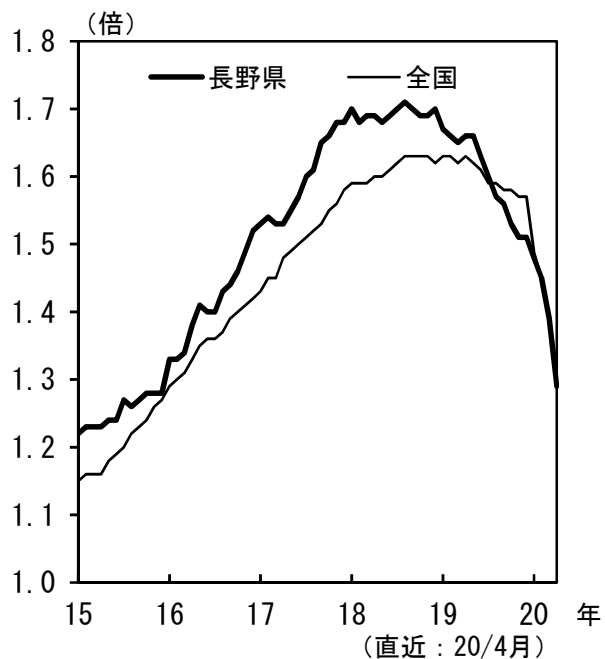
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は、新型コロナウイルス感染症の影響などから労働需給が一段と緩和してきており、弱めの動きが広がっている。

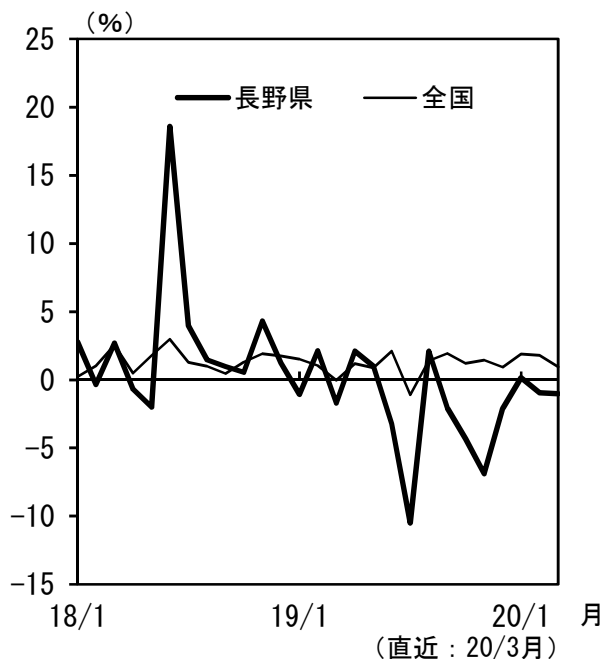
有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響などから一段と低下している。雇用者所得は、弱めの動きが続いている。就業者数は、横ばい圏内で推移している。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

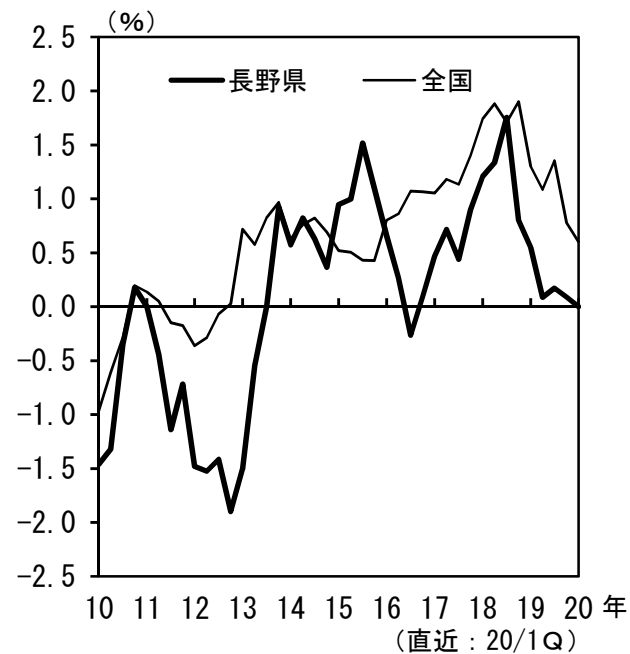
▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の前年比。

(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

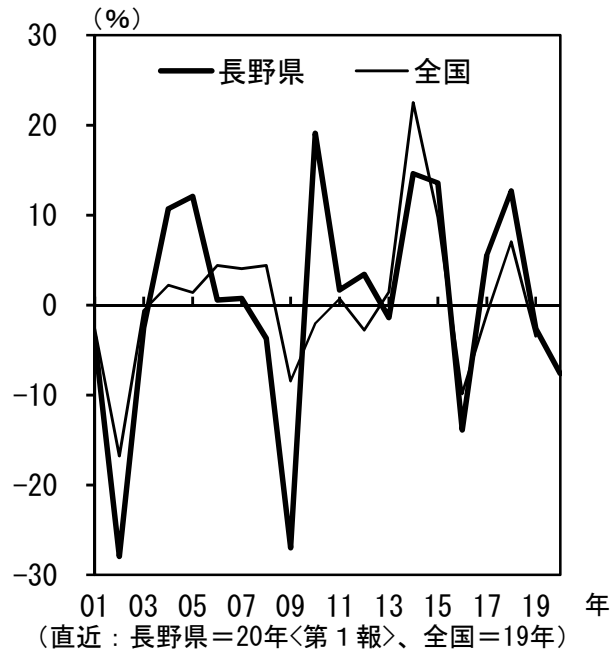


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

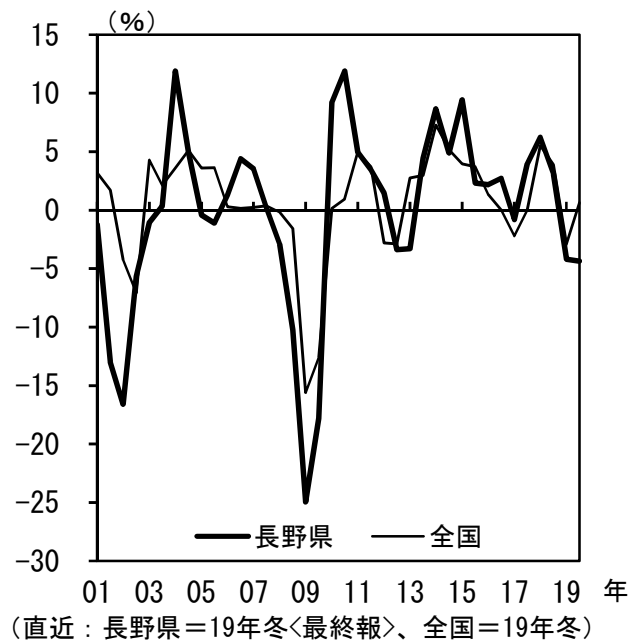
雇用・所得

▽ 平均賃上妥結額（前年比）



(出所) 長野県：長野県
 「春季賃上げ要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）

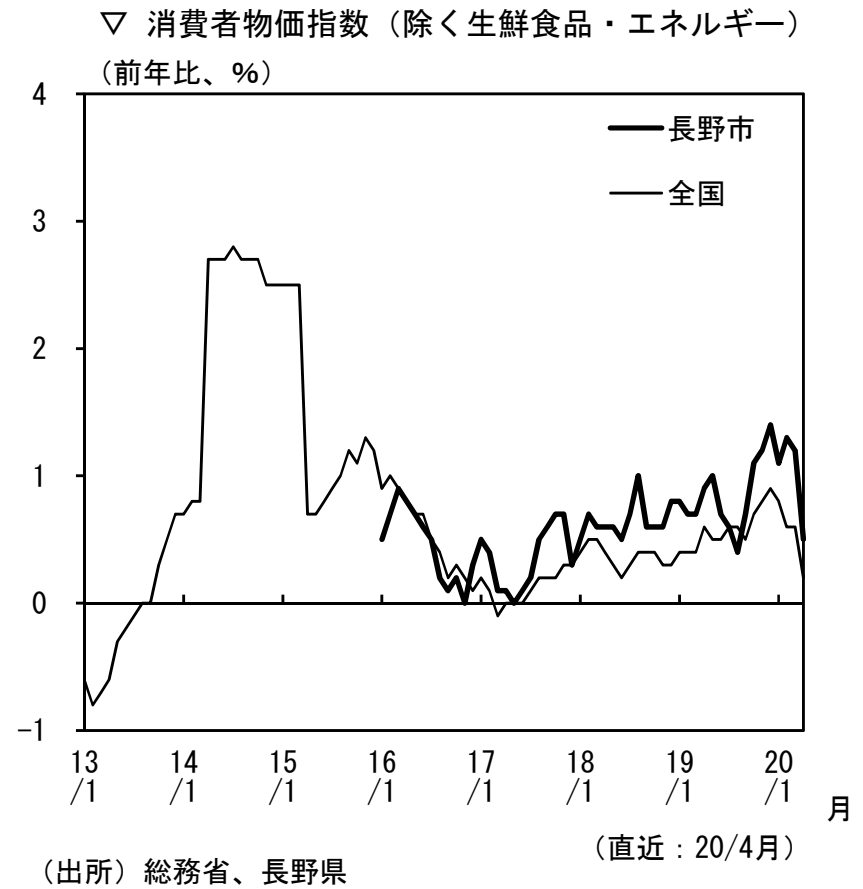


(出所) 長野県：長野県
 「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
 全国：厚生労働省
 「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、20/4月は前年を下回っている。

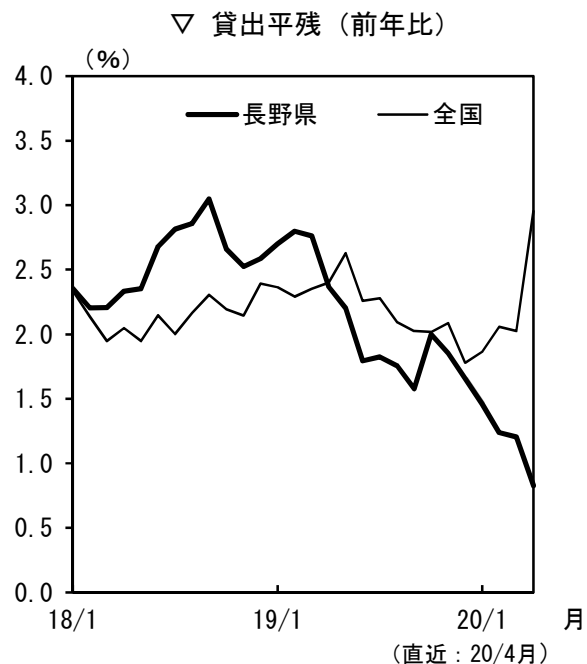


2. 金融

貸出金・預金

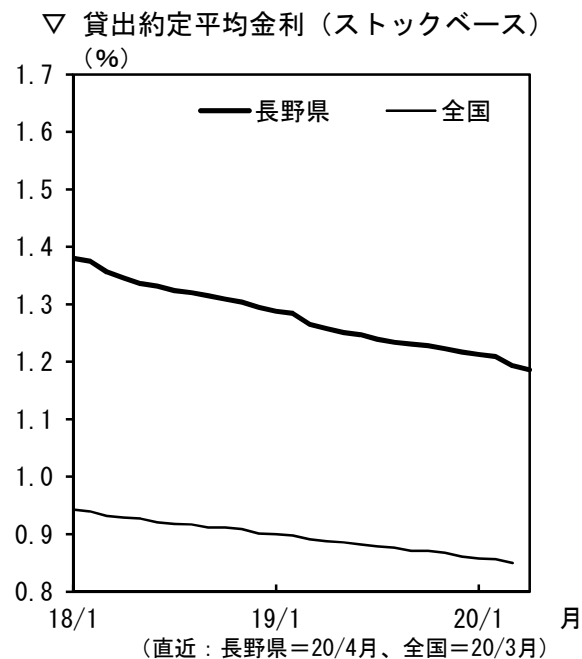
貸出金は、前年比で1%程度のプラスとなっている。法人向けは、運転資金、設備資金ともに横ばい圏内で推移している。個人向けは、住宅ローンを中心に緩やかに増加している。こうした中、貸出約定平均金利は、緩やかに低下している。

預金は、法人預金や個人預金の増加を主因に前年比で3%台のプラスとなっている。



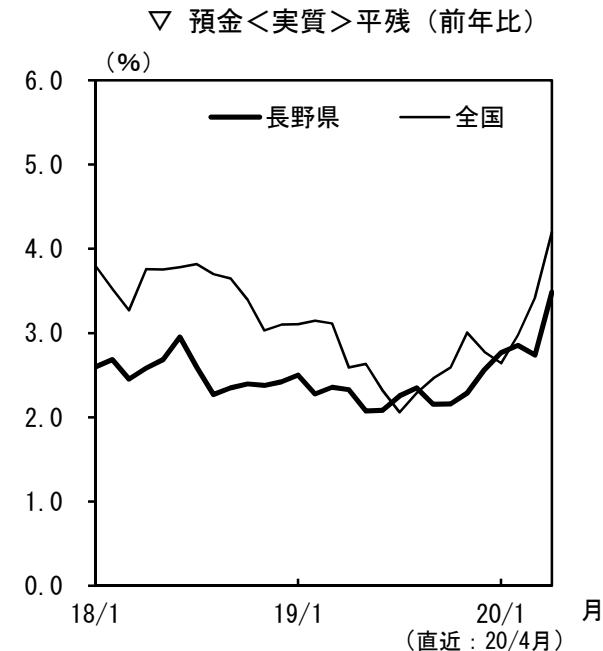
(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

(出所) 日本銀行



(注) ・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+0）。

・「全国」直近データは速報。

(出所) 日本銀行